

平成29年度学校評価総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

学校教育目標	本年度の重点課題
<p>徳島県学校教育目標</p> <p style="text-align: center;">とくしまの教育力を結集し、未来を創造する、たくましい人づくり ～県民とともに考え、ともに育むオンリーワン教育の実現～</p> <p>本校の教育目標</p> <p style="text-align: center;">児童生徒一人ひとりの個性と人権を尊重し、社会参加と自立に向けて、 自己実現に努める心豊かな児童生徒を育成する。</p> <p>めざす子ども像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○たくましい心や体をめざして学習する児童生徒 ○自分の思いを自分で伝える児童生徒 ○いろいろなことにチャレンジする児童生徒 <p>本校の教育方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の命と人権を守り、安心して学べる安全な教育環境づくり ○教師の専門的な知識を高める校内研修の充実 ○キャリア教育の視点に立った小・中・高一貫した授業を通じた進路指導の推進 ○自立活動の指導内容や方法の充実 ○家庭・地域と連携し、信頼される学校、開かれた学校づくりの推進 ○地域のセンター的役割として、地域や小・中・高からの相談体制の充実 ○学校公開やホームページを積極的に活用した地域への情報発信 ○学校間交流や居住地交流、地域との交流の充実 ○新学校版環境 ISO の活動を中心にユネスコスクールとして持続可能な開発のための教育の推進 	<p>重点課題 I</p> <p>専門性・資質・授業力の向上をめざした研修の充実</p> <p>○児童生徒一人ひとりのコミュニケーション力の向上に関する研修の推進</p> <p>(具体的内容の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・的確な実態把握に基づいた指導内容を実践する。 ・キャリア教育支援プログラムの視点を踏まえた授業を実践する。 ・ICT 機器を効果的に取り入れた授業を実践する。 ・外部専門家を活用した授業を実践する。 ・教員の「協働」によりチームとして授業を実践する。 ・校内体制の改善・構築を図る。 <p>重点課題 II</p> <p>安心・安全な学校づくり</p> <p>○健康・安全教育の徹底</p> <p>(具体的内容の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・防犯体制の整備を図る。 ・医療機関との連携を深める。 ・医療的ケアについての研修を行い医療的ケアの基礎的な知識を持つ。 ・医療的ケア緊急対応マニュアルに基づく体制を整備する。 ・安全な給食指導・摂食指導の充実に努める。 ・児童生徒の実態に即した緊急時対応体制を整備する。 ・ヒヤリハットの情報を提供し安全に対する意識を共有する。 ・施設設備、校内外の教育環境を整備する。

平成29年度学校評価総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

		自己評価		学校関係者評価		次年度の課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画		評価		学校関係者の意見	
	評価指標	目標達成のための活動計画	評価指標の達成度と活動計画の実施状況	総合評価(評定)		
小学部	<p>①的確な実態把握に基づいた教育実践を行う。</p> <p>②緊急対応マニュアルを整備し、教員の対応力の向上を図る。</p>	<p>①教員の70%以上が、個別の指導計画において、実態に応じた各学期の目標設定が「できた」「ほぼできた」と回答する。</p> <p>②-1 校内及び校外学習時の、医療的ケア緊急対応マニュアルを作成する。</p> <p>②-2 学習時間帯と給食時間帯での緊急搬送訓練を各1回実施する。</p>	<p>①-1 III類型の児童を対象とした事例研究を通して客観的に児童の行動を観察・理解する方法について学ぶ。</p> <p>①-2 学期毎に各グループでケース会を実施し、実態に応じた目標が設定できているか検討する。</p> <p>①-3 3学期にアンケートを実施する。</p> <p>②-1 学級又はグループ毎に児童の主治医、緊急時と判断する状態・状況、教員の動きを表や図に示したマニュアルを作成する。</p> <p>②-2 緊急対応マニュアルを共有できる場所に保管し活用する。</p> <p>②-1 III-2類型児童を対象とし、担任、養護教諭、学校看護師等で実施日、想定時間帯を調整する。</p> <p>②-2 全校で緊急搬送訓練を実施し、訓練後に感想や改善点を協議する。</p>			

平成29年度学校評価総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

		自己評価		学校関係者評価		次年度の課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画		評価		学校関係者の意見	
	評価指標	目標達成のための活動計画	評価指標の達成度と活動計画の実施状況	総合評価(評定)		
中 学 部	<p>①生徒の的確な実態把握に努め、コミュニケーション力の育成を図る。</p> <p>② ICT 機器等を効果的に活用した授業を実践する。</p> <p>③ 修学旅行を安心・安全に計画し、実施する。</p>	<p>① コミュニケーションのアセスメントチェックリスト（福山特別支援学校版）において、1項目以上で向上が見られる生徒が50%以上になる。</p> <p>② 教員の70%以上が、「ICT機器等の有効活用ができた」と回答する。</p> <p>③ 教員、生徒、保護者の80%以上が、「安全な実施にむけて準備（共通理解等を含む）が十分できていた」と回答する。</p>	<p>①-1 III・IV類型の生徒について、コミュニケーションのアセスメントチェック（MEPA-II R）及び福山特別支援学校版）を行う。</p> <p>①-2 グループでビデオ撮りなどをして生徒の実態を検証し、外部専門家のコンサルテーションを受ける。</p> <p>②-1 学部会でICT機器等の活用に関するミニ研修を行い、技術や活用の仕方について、教員間で共有化を図る。</p> <p>③-1 参加生徒について、医療的ケアを含めた24時間の配慮事項を表にして、引率教員間で共通理解を図る。</p> <p>③-2 宿泊先や見学先の消防署や総合病院と連絡をとり、緊急時対応を備え、緊急時対応マニュアルを作り、引率教員間で共通理解を図る。</p> <p>③-3 事後アンケートを実施する。</p>			

平成29年度学校評価総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自 己 評 価				学校関係者評価		次年度の課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画		評 価		学校関係者の意見	
	評価指標	目標達成のための活動計画	評価指標の達成度と活動計画の実施状況	総合評価(評定)		
高等部	①的確な実態把握に基づいた個別の指導計画の目標を設定し、指導を実践する。	①教員の70%以上が、個別の指導計画の目標設定や評価について「妥当性を高めることができた」と回答する。	①-1 アセスメントチェックリスト等を活用し、各生徒の実態を確認し、結果にそって個別の指導計画の目標を設定する。 ①-2 個別の指導計画の目標設定後、目標の妥当性を検討するケース会議を年間で3回以上実施する。 ①-3 2グループ毎に対象生徒の事例研究を実施し、外部専門家のコンサルテーションを年2回受ける。 ①-4 年度末にアンケートを実施する。			
	②生徒の実態に即した緊急時対応体制を整備する。	②教員の90%以上が「整備された」と回答する。	②-1 生徒の実態(怪我・発作・食事時の誤嚥など)に応じ、緊急時対応マニュアルを担当が作成する。 ②-2 緊急時対応マニュアルについて学部会で周知する。 ②-3 緊急性の高い生徒4名を対象とした緊急対応訓練を実施する。 ②-4 年度末に、アンケートを実施する。			

平成29年度学校評価総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

		自己評価		学校関係者評価		次年度の課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画		評価		学校関係者の意見	
	評価指標	目標達成のための活動計画	評価指標の達成度と活動計画の実施状況	総合評価(評定)		
企画 総務 課	<p>① コミュニケーション力育成に向けて、実態把握に関する校内研究を推進する。</p> <p>② 研修会（保護者・教員対象）を企画・実施し、児童生徒の健康維持に向けて共通理解を図る。</p>	<p>① 80%以上の教員が「実態把握の取組ができた」と回答する。</p> <p>② 研修会の参加者の80%以上が「健康維持に役立った」と回答する。</p>	<p>①-1 全体研修(スタート研修5月)、グループ研修(3回以上)、報告会(2月)を実施する。</p> <p>①-2 研究課題に対する外部専門家によるコンサルテーションを、学部別の6グループ毎に2回ずつ受ける。</p> <p>①-3 年度末にアンケートを実施する。</p> <p>②-1 外部専門家を招き、口腔ケアや口腔機能を高めるマッサージ等についての講義や演習を実施する。</p> <p>②-2 講師のプロフィールや日程を詳しく広報し、参加を呼びかける。</p> <p>②-3 研修会終了後及び2学期にアンケートを実施する。</p>			

平成29年度学校評価総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

		自 己 評 価			学校関係者評価		次年度の課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画		評 価		学校関係者の意見		
	評価指標	目標達成のための活動計画	評価指標の達成度と活動計画の実施状況	総合評価(評定)			
教務課	①年度初めに的確な実態把握を行うことができる期間を確保するために、ケース会等の時期を適切に設定する。	① 1月の職員会議で「実態把握期間」を明確にしたスケジュールを説明・提案する。	①-1 9月までに課内で5回以上話し合い、案を作成する。 ①-2 教員アンケートを10月に行い、案に対する意見を集約し、案を修正する。 ①-3 10月の校務運営委員会で案を検討する。				

平成29年度学校評価総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

		自己評価		学校関係者評価		次年度の課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画		評価		学校関係者の意見	
	評価指標	目標達成のための活動計画	評価指標の達成度と活動計画の実施状況	総合評価(評定)		
進路・支援課	<p>①進路や福祉サービスに関する情報を提供し、小中高一貫した進路指導を推進する。</p> <p>②徳島赤十字ひのみね総合療育センターとの連携を深め、児童生徒への安心・安全な支援の方法についての情報を共有する。</p>	<p>①-1 研修会後にアンケートを実施し、80%以上の参加者が、「満足・やや満足」と回答する。</p> <p>①-2 進路・支援通信に、福祉サービスや施設等の進路に関する情報を、毎回掲載する。</p> <p>②-1 年度末に、学校・病棟連絡会についてのアンケートを実施し、80%以上の教員が、安心安全な支援に役立ったと回答する。</p> <p>②-2 ひのみね生活支援連絡協議会において、安心・安全な支援に関する内容について、情報交換を行う。</p>	<p>①-1 PTA 進路研修会（福祉サービスの現状等）、教員対象の施設体験会（夏季休業中）、保護者施設見学会を企画し実施する。</p> <p>①-2 進路・支援通信を年間3回各学期末に発行する。</p> <p>②-1 学校・病棟連絡会を年間2回（5月と3月）実施する。</p> <p>②-2 ひのみね生活支援連絡協議会を月に1回（8月を除く）実施し、児童生徒の学校や病棟での生活について、協議や連絡を行う。</p>			

平成29年度学校評価総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

		自己評価		学校関係者評価		次年度の課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画		評価		学校関係者の意見	
	評価指標	目標達成のための活動計画	評価指標の達成度と活動計画の実施状況	総合評価(評定)		
人権教育課	①「ひのみね人権の日」の活動を通して、人権啓発活動を推進する。	①あいさつ運動や放送に関するアンケートを教員に実施し、80%以上が「達成感を感じていた」「意欲的にあいさつが行えた」「前よりできるようになった」と回答する。	①-1 あいさつ運動を年間8回、人権放送を年間6回児童生徒の個々の実態に応じた方法で実施する。 ①-2 あいさつ運動日の登校時には、玄関に旗を立て、教員が率先してあいさつをする。 ①-3 人権放送の記録を取り、常時活用できるようにする。 ①-4 あいさつ運動等の様子をホームページや人権啓発新聞「花みずき」(各学期末発行)に掲載し情報発信を行う。			
	②不審者対応マニュアルを整備し、教員間の共有と徹底を図る。	②教員の80%が自分の動きを把握し、「適切」「前より適切」に対応できたと回答する。	②-1 不審者対応訓練を年間2回行う。 ②-2 訓練前には、不審者対応訓練マニュアルを配布し教室環境の整備を行う。 ②-3 訓練前後に教職員の動きを確認し、安全に対する意識を共有する。 ②-4 2回目の訓練後にアンケートを実施する。			

平成29年度学校評価総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

		自己評価		学校関係者評価		次年度の課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画		評価		学校関係者の意見	
	評価指標	目標達成のための活動計画	評価指標の達成度と活動計画の実施状況	総合評価(評定)		
特別活動課	<p>①コミュニケーションの向上につながる体験型の学校行事を実施する。</p> <p>②安心・安全な学校行事を実施する。</p>	<p>①-1 外部専門家を活用した事業を年間1回以上行う。</p> <p>①-2 教員の70%以上が今年度の交流及び共同学習の内容が適当であったと回答する。</p> <p>②-1 全ての校外学習での緊急対応体制を明確に表示する。</p> <p>②-2 学校祭での来校者に防犯リストバンドを100%配布する。</p>	<p>①-1 芸術家派遣事業等を積極的に活用する。</p> <p>①-2 交流校との事前の連絡打ち合わせ会を複数回持ち、児童生徒の実態に応じた交流及び共同学習を実施する。</p> <p>①-3 2月にアンケートを実施する。</p> <p>②-1 校外学習計画表の緊急避難場所欄へ記入，職朝掲示板(Joruri GW)で周知を行う。</p> <p>②-2 前年度の課題を再検証し，受付名簿の確実な記入と，防犯リストバンドの装着への協力を伝える。</p>			

平成29年度学校評価総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

		自己評価		学校関係者評価		次年度の課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画		評価		学校関係者の意見	
	評価指標	目標達成のための活動計画	評価指標の達成度と活動計画の実施状況	総合評価(評定)		
保健 厚生 生課	①安心・安全な学校生活に向けて安全に対する意識を高める。	①インシデントアクシデント状況報告書が1学期より20%減少する。	①-1 過去3年間の状況報告書を基に、各学部ごとに学期に1回、事例検討会を行い、安全に対する意識を共有する。 ①-2 ヒヤリハット発生児童生徒について、職朝掲示版(JoruriGW)で報告し、個々に応じた指導や支援を実施する。			
	②安全な給食指導に向けて、緊急時対応の体制を周知する。	②年度末に学部会で協議し、教員の80%以上が「体制の周知ができた」と回答する。	②-1 給食時の各教室毎にグループリーダーを決め、緊急時の対応を話し合い、年間2回緊急対応訓練を実施する。			

平成29年度学校評価総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

		自 己 評 価		学校関係者評価		次年度の課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画		評 価		学校関係者の意見	
	評価指標	目標達成のための活動計画	評価指標の達成度と活動計画の実施状況	総合評価(評定)		
情報・防災課	<p>① ICT機器の積極的な活用を推進し、授業改善を図る。</p> <p>② 防災対策の校内体制を整備し、防災意識の向上を図る。</p>	<p>①-1 ICTを活用するための研修会（教員対象）を年間5回以上実施し、アンケートで教職員の80%以上が「授業で活用することができた」と回答する。</p> <p>②-1 教職員の80%以上が避難訓練において「適切に行動できた」と回答する。</p> <p>②-2 防災に対する教職員への啓発活動を年間10回以上実施する。</p>	<p>①-1 タブレット端末のアクセシビリティや授業等で活用できるアプリケーションの紹介・活用方法についての研修会（長期休業中）を計画・実施する。</p> <p>①-2 7月・1月に授業での活用についてのアンケートを実施する。</p> <p>②-1 職員会議等を通じて、避難訓練実施についての周知事項を伝える。</p> <p>②-2 避難訓練後のアンケート結果を公開し次回の訓練に反映させる。</p> <p>②-2 学校防災計画を定期的に見直し、簡素化を図った資料を作成する。</p> <p>②-3 定期及び不定期に、安否確認メール配信、校舎内外の点検、避難訓練を実施する。</p>			

